

広報伊方町

発行所 伊方町長室
編集 伊方町長室
印刷 尾上印刷所
電話 尾上印刷所



横断を正しく

「いってまいります……」がひらかれました。四月からお母さんまつわりついでにたよ子の通学がはじまりました。よい子をお母さんから守るため、交通安全教育が大切で、お母さん自身も交通安全教室に通学し、交通安全教育が大切で、お母さん自身も交通安全教室に通学し、交通安全教育が大切で……

生涯福祉・環境整備に重点

一 概 六億二千七十三万円きまる

三月議会第六十六回定例会三 監査委員学識者 三〇、〇〇〇円 円増額されました。月十日から六億二千七十三万円におよぶ四十七年度一般教育委員会委員五、〇〇〇円 職員に給付する条例の一部修正、出産手当支給条件の一部修正、火葬場使用料条例の一部修正、国庫支出金及び県職員との均等二十六歳を議決しました。

四月町職定数条例の一部改正 四月から役場機構の一部改正によって国土調査課が新設されたことなどから、役場職員定数を百一人から百六十人に五人増員されました。

非常勤職員の報酬等に関する条例の一部改正 消防団員の勤務の実態を報酬の各委員、役員報酬につきようアップによって出勤一回につき二百円、訓練、警務等年間団員一人に三百円とし、それぞれ百二十円に改正しました。

伊方町火葬場使用料条例の一部改正 町では既の葬費負担を少ししても軽減するため、四月一日から火葬場の使用料は徴収せず無料になりました。

伊方町火葬場使用料条例の一部改正 町では既の葬費負担を少ししても軽減するため、四月一日から火葬場の使用料は徴収せず無料になりました。

予算内容をくたぐ

四月から使われる町の台所予算ができました。これをみますと、昭和四十七年度一般計予算は総額六億二千七十三万円、昨年の当初予算の四億八千九百六十五万四千四百三十三円に比べ、大型予算が誕生しました。この町の当初予算のなかには、町見中学校建設費も八千七百メートルにおよぶ道路舗装費、ことしから開始された出産手当などが含まれています。そこでこうした町の台所がどのようになっているのか、また、お金がどのまに入り、使われるか、町民のみなさんにその予算の内容をくたぐ、あらまを紹介しましょう。

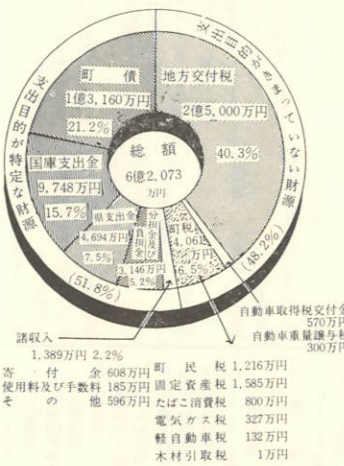
歳入 入ってくるお金

町税は全体の六・五%

「たばこ」から八百万円

昭和四十七年度の台所に入ってくる収入金、支出金となってくるお金の横断は、このまじりです。地方交付税で四・三%にあたる一億五千四百円で、町民のみなさんがめめられる税金は五番目の四十一万円で、いろいろな事業推進に借入れる、すまません。町債の一億二千六百六十六万、つぎ、円グラフをみながら、入ってくるお金の構成

入ってくるお金の構成



特別会計

例の制定 町の保健婦及び助産婦を確保するため、修学資金制度を新設しました。この制度は看護職員を養成する学校、または養成所に在学中、将来米町の看護職員として仕事に従事する人に毎月五万円を限度とし、無利子で修学資金を貸与するものとする。

出産手当を支給

一人に四千五百円

伊方町出産手当支給条例の制定 四月一日から町の母子健康センターを利用して出産した場合(出産者は伊方町住民基本台帳に記載される)に毎月五万円を限度とし、無利子で修学資金を貸与するものとする。

老人福祉年金

支給条件が厳格 伊方町老人福祉年金給付条例の制定 この条例は国民年金法によって老齢厚生年金の受給権者、同法の定額所得制限等老令福祉が停止されているお年寄りに町独自の年金を支給することになり、年金額は月額、五月から九月まで一千五百円、十月から十二月まで一千二百円に支給されます。なお、町内には約四百人該当者があります。

国庫支出金

九千七百八十八万円

町民福祉の拡充、教育資本の充実、町民の生活、生産整備の整備、こうした重点施策を推進するために六億二千七十三万円計上されており、昨年度より一億三千八百八十五万円です。

自動車取得税交付金

三百二十一万

昭和四十六年十二月一日から新しく創設された制度で、自動車の保有者に運賃補助金、町見中学校校舎建設、小中浦高砂対策、二千円、町見中学校校舎建設、一千三百五十八万円、伊方越後港関連事業、一千万円、児童手当、六百五十五万円、災害復旧費、六百十三万円、仁田之浜物揚場築造、四百万円、失業対策費、三百五十万円、大浜防波堤新設、三百五十万円、国民年金事務費、百五十八万円、老人医療費、百十八万円、老人福祉費、(二万五千七百七十三円)

交通安

四千万九千九百四十四円

町が町が行なう事業の一部を助成する収入です。交通安全を推進する費用

町債

一億二千六百六十六万

町債の発行は、町民のみなさんがめめられる税金は五番目の四十一万円で、いろいろな事業推進に借入れる、すまません。

町税

六千五百万円

町税は全体の六・五%にあたる一億五千四百円で、町民のみなさんがめめられる税金は五番目の四十一万円で、いろいろな事業推進に借入れる、すまません。

国庫補助金

八百九十六万

国庫補助金は、町民のみなさんがめめられる税金は五番目の四十一万円で、いろいろな事業推進に借入れる、すまません。

地方交付税

一億一千六十万

地方交付税は、町民のみなさんがめめられる税金は五番目の四十一万円で、いろいろな事業推進に借入れる、すまません。

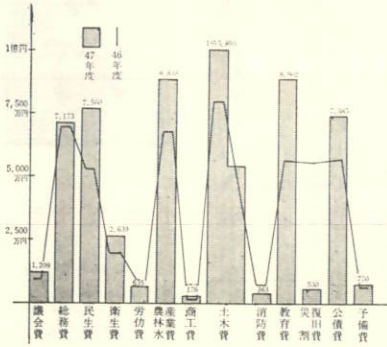
70才以上老人医療費無料・道路舗装

48年1月から

8,700メートル

6億円の
つかいみち

使われるお金の内訳



長寿祝金

ことしから八十歳以上

使われるお金のトツプは、二年連続土木費で全体の二五・六%もしめています。

二位が教育費、ついで農林水産費、民生費の順位になっています。この使われるお金が町民一人当たりにして六万七千三百二十四円になります。(カッコ内は町民一人当たり)

◎民生費 七千五百六十万円 (二・二%)
前年度より一千三百九十九万円、町内六カ所の保健所運営費が主体で四千三百八十六万円、ことし一月から月額千円支給された児童手当が九百九十七万円。

◎七十五歳以上の老人医療費 五百九十八万円 (四・八%)
月からは七十歳以上に引き上げられ医療費は無料になります。

◎老人特別養育施設 五十五万円 (〇・五%)
わたり老人特別養育施設五十五万円、老人特別養育施設五十五万円、老人特別養育施設五十五万円、老人特別養育施設五十五万円。

◎衛生費 二千六百三十万円 (二・四%)
前年度より六百九十九万円、九町船場地区電話架設費五十一万円、船場地区には電話があまりありませんでしたが、ことし希望の電話が設置されました。(八百九十九万円)

◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。

◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。

◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。

◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。



◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。

◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。

◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。

◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。

◎労働費 六百三十五万円 (〇・七%)
前年度より二百六十八万円、労働費は、結核検診に四十二万円、成人病検診に二十二万円、子高岡検診に二十二万円、個人負担を一部軽減しました。

農道三線新設

◎農林水産費 八千八百三十八万円 (八・四%)
前年度より二千六百五十四万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円。

◎農林水産費 八千八百三十八万円 (八・四%)
前年度より二千六百五十四万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円。

◎農林水産費 八千八百三十八万円 (八・四%)
前年度より二千六百五十四万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円。

◎農林水産費 八千八百三十八万円 (八・四%)
前年度より二千六百五十四万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円。

◎農林水産費 八千八百三十八万円 (八・四%)
前年度より二千六百五十四万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円。

◎農林水産費 八千八百三十八万円 (八・四%)
前年度より二千六百五十四万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円、農道三線新設に八千八百三十八万円。

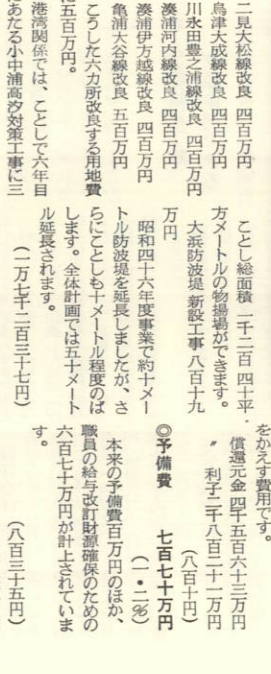
物揚場

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。



物揚場の建設現場

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

◎土木費 一億五千八百九十三万円 (一五・六%)
前年度より七十九億七千万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円、物揚場の整備に一億五千八百九十三万円。

第一回農薬 危害防止大会

お母さんに多い障害

第一回農薬危害防止大会が三月 催され、当日は中之浜地区、農
二十一日伊方町農薬大会会場で開 協同人部、青壮年部、伊方地区



シンポジウム風景

このほか昭和四
十五年に発足し
た伊方町農薬危害
防止対策協議会の
メンバーである八
幡消防会、八幡
農薬改良普及、
農村医学センター
の会長、新井さん
方を迎え、それら
の立派で農薬危
害に対するアド
バイスがありまし
た。

た。 大会は町長、町議会議長、保健
所長、医師会長のあいさつのもと
所長、医師会久保田三三農務課長の
「農薬危害の現状と問題」と題す
る講演、ついで保健所の平井健雄
子防衛課の「中之浜地区農薬害
防止対策報告」、ついで伊方町
農薬対策部長矢野吉衛氏(大浜)

中ノ浜地区の健康診断の結果で
は、農薬によるものではないか、特
に思われる者が五十名もあり、特
にお父さんよりお母さんとの
障害が多くなつていきました。
その障害は
①全身障害(頭痛、目まい)
②皮膚障害(皮膚炎)
③目の障害
その他吐き、嘔吐、気管支炎
害の順位となつており、貧血症が
他の地区にくらべて多いことが目を
ひきました。
この原因は、他地区にくら
べ散布時間が長時間である。散布
回数が多い、複散布が多いこと
などがあげられます。

農薬障害は農薬使用者中、全国
では四人に一人障害がでてお
り、中でもこの近年の調査でも四十
九、五十名の障害者がでていま
る。

現在までの農薬事故は、不注意
なれ、ゆたんによるもので、
このほかの異常がある場合は
農薬散布を止めることが第一であ
ると同時に、完全な服装(マスク
手袋等の着用)で散布すること
が大切だ。

旧軍人等に対する恩給について
○航空基地勤務加算
○戦車加算
○不健康業務加算等
○退職不健康加算
○潜水艦加算
○遠洋航海および艦隊勤務加算
○旧軍人等に対する一時恩給お
よび一時扶助料が支給されるこ
とになった人は、つぎに該当す
る方です。
① 旧軍人等が引き続き実在職
年が三年以上七年未満であつて
十歳以上としての在職が一年
以上者
② 一時恩給が支給され
ます。

旧軍人等に対する 恩給が改正

この場合、引き続き実在職年
とは、実在年数であり、十歳以上
十歳以上の在職年は加算年数で
計算されます。
③ 右の一時恩給の受給権者で
復員後、死された方はその遺
族に一時扶助料が支給されま
す。

消防団役員かわる

団長に吉川氏



副団長は 中村・宇都宮両氏
この町消防団では、ついで任期
満了による役員改選の結果、団長
に吉川浩幸氏(川永田)が昇
格、副団長は中村一氏(久)より一階町消防団が活動化する
後、宇都宮一氏(仁田)と
とを以て充実にした。火災体制がと
れることになりました。

火の始末
昭和四十七年度の伊方町消防団
の新役員がきまりましたので紹介
します。
こんど、いざ火災の場合、わた
したらの生命、財産を守るため
にいろいろと奮闘いたしたいと思います。

- 八、(川永田) 田原 春吉、十五、(九町西) 松田 克之
- 九、(豊之浦) 坂田 茂明、十六、(二見) 川島 正
- 十、(伊方) 兵頭 浩吉、十七、(加周) 平家 義夫
- 十一、(魚浦) 井上 久康、十八、(田之浦) 重岡 隆雄
- 十二、(奥) 川原 好忠、十九、(吉原) 井根 清司
- 十三、(向) 堀内 政和、二十、(天成) 古田 孝彦
- 十四、(九町東) 加藤 金哉、二十一、(鳥津) 西村 高敏

お 礼
尼崎市本宮川五十七の七に
お住いの木戸伊勢雄氏(大浜出
身)より一万円。
別府市梅園町にお住いで旅館業
を営んでおられる井田清氏(川
永田出身)より五千元。
蒲田県家徳郡赤松町にお住
いの山田浩徳氏(二見出身)より
二千元。

伊方町消防団では、ついで任期
満了による役員改選の結果、団長
に吉川浩幸氏(川永田)が昇
格、副団長は中村一氏(久)より一階町消防団が活動化する
後、宇都宮一氏(仁田)と
とを以て充実にした。火災体制がと
れることになりました。
新しく昇格された吉川団長、中
村、宇都宮副団長とも同才前
歴任され活躍されていた道土正前
後の働きぶり、平均年齢三十八
才という若さですが、消防団は
五年以上のベテランで町内消防活
動の第一線を行く人たちがす。
田氏はそれぞれの職務に精進さ



ちびっこ紹介
吉平浩幸ちゃん(大浜)は
すくすく育つて運動が毎日友
だちと仲よく遊んでいます。
この写真はご家族の動物園か
遊園地につれていって楽しい写
しをもらったのでしよう。
なかなか楽しそうでカッコよ
く撮れています。

昭和47年2月末現在 世帯数 2,459戸(+5戸)

えんむすび 昭和47年2月1日 2月29日

お祝い 昭和47年2月1日 2月29日

おめでとう 昭和47年2月1日 2月29日